

科目コード	BA01
教育課程	学部
科目名	基礎ゼミナール
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-専門学修の基礎 1単位 15回
担当教員	服部美穂 山口貴子 三浦藍 藏本直子 櫻井香 川上友美 近藤絢弓
講義目的	
<p>基礎ゼミナールは、1年生前期の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で、必要な基礎的な技能や知的探究心を鍛錬することを目的にしている。また、少人数教育による教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生同士の親睦と連帯意識を育てる。</p>	
授業内容	
<p>基礎ゼミナールは、これから大学で勉強していく上で、必要な基礎的な技能や知的探究心を鍛錬することを目的にしている。また、少人数教育による教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生同士の親睦と連帯意識を育むことができる。</p> <p>具体的には、医療・保健・看護に関連するテーマを用いて、9～10名程度の少人数のグループで、討論を通しながら、大学で学ぶための必要なアカデミックスキルを習得できる。具体的には、文献の種類や文献検索の方法を学び、関心あるテーマに関する理解を深めることができる。さらに文献検索等を通して理解を深めたことをふまえ、自分なりに考えをまとめ、それを人に伝える工夫をすること、他者との討論を通して、異なる意見を受けとめ、それを取り入れさらに理解を深めることができる。これらを通して、理解したテーマについての学びをレポートにし、大学におけるレポートの書き方のスキルを身につけることができる。</p>	
評価方法	
レポート50%、授業態度50%の総合得点で100点満点とし、60点以上を合格とする。	
留意事項(履修条件他)	
ゼミには積極的に参加すること	
教材	
各教員の指示に従うこと	
授業計画 (15 回)	
1-15	ゼミ 医療・保健・看護に関連するテーマに関するゼミ 10名程度を1クラスとして編成し、トピックスに関する文献検索や討論をしながら理解を深め、大学の規定にそった書き方のレポートを作成する。テーマは、各担当教員の指示に従う。 具体的内容は別途指示する。
1	コースオリエンテーション
2-3	図書館の使い方、文献検索方法
4-15	担当教員の指定した医療関係のテーマに添って、文献を調べ、 まとめ、発表し、ディスカッションを行いながら、 大学でのアカデミックスキルを習得し、その後の学ぶ力の基礎を養う

科目コード	BA02
教育課程	学部
科目名	人間環境学
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-専門学修の基礎 2単位 15回
担当教員	内藤可夫
講義目的	
大学と学問の意義、そして大学理念人間環境学の理解	
授業内容	
<p>人間環境学は人間環境大学の根本理念である。この理念について十分に理解することは、全体知を目指し、又、環境の各々の専門を修めるといふ大学設立以来の教育の目的を達成するために不可欠である。本科目では、人間環境学の理念と人間環境大学とについて、その歴史と設立の意義を理解することとともに、人間環境学の学問、研究、教育における歴史的な意義を理解する。そのために、現在、広く学問がどのようなシステムになっているのか、そしてその課題がどのようなものか理解し、さらに、現在人類社会が直面しているさまざまな課題と学問の役割について考察できる。</p>	
評価方法	
試験	
留意事項(履修条件他)	
なし	
教材	
プリントを適宜配布	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 人間環境大学の設立 2 人間環境大学の概要 3 人間環境大学の学問理念「人間環境学」 4 学問とは何か 5 諸文化における学問 6 ヨーロッパにおける学問の理念と哲学 7 ヨーロッパにおける学問の歴史(1) 8 ヨーロッパにおける学問の歴史(2) 9 近現代における学問の変容 10 我が国における学問の歴史 11 世界的な大学および学問の変化 12 環境問題と人間環境学 13 こころの問題と人間環境学 14 歴史・文化と人間環境学 15 人間環境学の意義 	

科目コード	BA03
教育課程	学部
科目名	医療キャリアの基礎
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目—専門学修の基礎 1単位 8回
担当教員	石井英子 森川英子 山田裕子 藏本直子 大林実菜
講義目的	
<p>将来の医療キャリアの形成のために、必要な考えや看護職の基本的な仕事の内容を理解する。さらに医療職業人としての必要な接遇について基本的な態度を培う。これらを通して、大学入学間もない時期に、自らのキャリア形成について具体的な考えを持つことを目指す。</p>	
授業内容	
<p>キャリア形成の在り方を学ぶ。また看護職として必要な接遇を理解し、医療専門職業人としてのマナーを意識して行動できるようにする。さらに具体的な看護職の活動の内容を学び、大学入学間もない時期における自身のキャリア設計ができる。</p>	
評価方法	
レポート50%、授業態度50%の総合得点で100点満点とし、60点以上を合格とする。	
留意事項(履修条件他)	
自分の将来を考えながら、積極的に授業に参加してください。	
教材	
篠田弥寿子「心に手の届くマナーと声かけ介護・福祉・医療」ひかりのくに 2005年	
授業計画 (8 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 看護職としてのキャリア形成 (石井英子) 2 看護師の仕事を知る (大林実菜) 3 助産師の仕事を知る (藏本直子) 4 保健師の仕事を知る (山田裕子) 5 養護教諭の仕事を知る(森川英子) 6 自分のキャリア設計 演習 (石井・大林・藏本・山田・森川) 7-8 接遇 (寒川由美子)【7月7日火曜日4-5限】 	

科目コード	BB01
教育課程	学部
科目名	英語 I
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-コミュニケーションの基礎 2単位 15回
担当教員	西牟田祐美子 Gladstone Fredric James Ngairé Anne Keenan Edward Van Der
講義目的	
病院での場面を設定し、そのコミュニケーションに必要な語彙力を高める。ロールプレイを通し、外国人患者、家族の身になって診療、治療が行われるようなコミュニケーション能力を養う	
授業内容	
<p>グローバル社会に生きる現代人にとって、外国語は必須のコミュニケーションの手段である。今や国際語となっている英語については、「読む・書く・聴く・話す」の4技能について各自の能力に応じた効果的な学習によりそのスキルの向上を図り、外国の文化や社会に対する認識を深めるとともに、医療現場でも役立つ英語の習得を目標とする。</p> <p>日常生活及び将来的に看護の現場において役立つであろう様々な場面を想定した教材を用いる。医療英語 (Medical Term) をはじめとして、専門的な語彙力を高めることを目標とする。</p>	
評価方法	
筆記試験50%、課題レポート等30%、授業態度20%の総合得点で100点満点とする。	
留意事項(履修条件他)	
4クラスにて行う。	
教材	
毎回適宜ハンドアウトを渡す。	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 病院の受付での英語(初診患者の手続きを英語で手伝う) 3 患者を安心させながら、症状に関する情報を引き出す。痛み、身体異常に関する語彙力 4 患者に関する医療的情報、社会的情報(英語)を整理し、医師、または他の看護師、ケースワーカー等に伝える。 5 患者に病院のシステムを英語で説明し、質問を受ける。 6 医師の診察に付き添い、英語で症状等についてコミュニケーションが図れるよう助ける。 7 投薬の説明と再来院について確認する。 8 日常で気をつけることをいくつかの病状を場面的に設定して説明する。 9 検査、手術に関する語彙とコミュニケーション 10 入院に関する語彙とその際のコミュニケーション 11 会計、様々な保険に関する語彙とコミュニケーション 12 患者看護師間での英語でのコミュニケーションで患者の病名を当てる 13 アフリカ、アメリカの病気の子どもの様子 14 学期中に行った様々なロールプレイを通して考えたことを英語でレポートにまとめる。 15 まとめ 	

科目コード	BB02
教育課程	学部
科目名	英語Ⅱ
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目 - コミュニケーションの基礎 2単位 15回
担当教員	西牟田祐美子 Gladstone Fredric James Ngaire Anne Keenan Edward Van Der
講義目的	毎回それぞれのテーマに関する語彙力を高め、討議、コミュニケーションができる英語力を養う
授業内容	<p>1.グローバル社会に生きる現代人にとって、外国語は必須のコミュニケーションの手段である。今や国際語となっている英語については、「読む・書く・聴く・話す」の4技能について各自の能力に応じた効果的な学習によりそのスキルの向上を図り、外国の文化や社会に対する認識を深めるとともに、医療現場でも役立つ英語の習得を目標とする。</p> <p>2.日常及び将来的に看護の現場において役立つ様々な場面を想定した英語力を養う。</p>
評価方法	筆記試験50%、課題レポート等30%、授業態度20%の総合得点で100点満点とする。
留意事項(履修条件他)	4クラスで実施するが、一部合同で行う場合がある
教材	<p>テキスト：西牟田先生 Marilyn W. Edmunds 看護系学生のための総合英語 改装版 南山堂 1998年 English for Nursing Students 定価：2,052円(1,900円+税)、映画「エリン・ブロコビッチ」で学ぶ実践英語の基本 井村誠氏他 定価：2,052円(1,900円+税)</p> <p>Ngaire Anne Keenan先生 Talk a Lot Book 1 EFL Press : David Martin</p> <p>Gladstone Fredric James先生 プリント配布 別途指示する</p> <p>Edward Van Der先生 プリント配布 別途指示する</p>
授業計画 (15 回)	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション(映画のシナリオ英文を教材にしながら課題にそった授業を進める) 2 挨拶を覚える 3 基礎的な疑問詞を使って話す 4 会話を長く続ける 5 会話を終わらせる 6 ジェスチャーを使って話す 7 時間を表す語彙を学ぶ 8 行動と時刻について話す 9 同意や意義を表現する 10 感情を表す語彙を学ぶ 11 身体を表す語彙を学ぶ 12 病気について学ぶ 13 病院受診の外国人との会話 14 家族について話す 15 まとめ

科目コード	BB03
教育課程	学部
科目名	英語Ⅲ
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	基礎科目 - コミュニケーションの基礎 2単位 15回
担当教員	西牟田祐美子 Gladstone Fredric James Ngaire Anne Keenan Edward Van Der
講義目的	
<p>①自信を持ち、落ち着いて外国人の患者に接する事ができるようになるための英語力、コミュニケーション力を養う。</p> <p>②履修者は日常生活、且つ医療現場の様々な場面で使われる語彙を増やし、より多くの英語表現を学ぶ。そして医療の現場で、不安なく患者を助けられるような実践的な英語力を身につける。</p>	
授業内容	
<p>外国の文化や社会に対する認識を深めるとともに、医療現場で役立つ英語の習得を目標とする。日常生活及び将来的に看護の現場において役立つであろう様々な場面を想定した教材を用いる。医療英語 (Medical Term) 等、専門的な語彙力を高めることを目標とする。</p>	
評価方法	
筆記試験50%、課題レポート等30%、授業態度20%の総合得点で100点満点とする。	
留意事項(履修条件他)	
4クラスにて行う。	
教材	
毎回適宜ハンドアウトを渡す。	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 基礎的な緊急時の語彙、表現の学習をする。 3 問診票の記入を手伝う。患者の病歴等を聞き出し記入することができる。 4 病院の外来患者への説明、どのようにして診察までの経路をたどるか説明できる 5 英語での院内の様々な科についての理解と、道順を教えられる。 6 英語で身体の各部位の理解と、病気、痛みなどの症状の説明ができる I 7 英語で身体の各部位の理解と、病気、痛みなどの症状の説明ができる II 8 医療検査とそれがどのように行われるか、またどこに行かなくてはならないか等説明できる。 9 入院中に使用できる院内のサービスの説明と、入院に関する質問を受けることができる。 10 手術と術前の用意、注意について説明でき、患者の不安を和らげることができる。 11 手術と術後の注意、ケア、リハビリ等についての理解と説明ができる。 12 長期化する病気の説明と対応、緩和ケアについての理解、説明ができる。 13 患者の親族友人とのコミュニケーションができる。 14 会計と様々な保険についての理解と説明ができる。 15 まとめ 	

科目コード	BB04
教育課程	学部
科目名	英語Ⅳ
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	基礎科目 - コミュニケーションの基礎 2単位 15回
担当教員	西牟田祐美子 Gladstone Fredric James Ngaire Anne Keenan Edward Van Der
講義目的	
<p>①英語で自分の意見、感想を発表する技能を養う。</p> <p>②現場ですぐに使える英語力、実践的なコミュニケーション力を養う。</p>	
授業内容	
<p>履修者は日常生活の様々な場面で使われる語彙や英語表現を習得し、これまで学習してきた文法の知識を確認しながらより正確な英語運用能力を身につける。ボディランゲージ、状況に合った適切な語彙の選び方、正しい発音など、ロールプレイを通して医療現場で役立つ英語力を身につける。</p>	
評価方法	
筆記試験50%、課題レポート等30%、授業態度20%の総合得点で100点満点とする。	
留意事項(履修条件他)	
4クラスにて行う。	
教材	
毎回適宜ハンドアウトを渡す。	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 自己他己紹介ができる。 3 自他の関心事について表現できる。 4 家族について表現できる。 5 様々な人物描写に関する語彙を学習し、表現できる。 6 様々な仕事に関する語彙と表現ができる。 7 自身の過去の経験を表現、また他者の体験、感情を傾聴し理解できる。 8 様々なスポーツに関する語彙を学習し表現できる。 9 様々な国と国籍、民族、文化に関する理解、表現できる。 10 方向、道案内の語彙、説明ができる。 11 将来の夢、予定されたイベントについての説明できる。 12 教育現場(学校、大学)とその規則に関する語彙と自分の経験、意見の表現ができる。 13 身体の各部位の語彙とそれを使った表現ができる。 14 様々な疾病と、健康に関しての語彙と自分の経験、または意見を表現できる。 15 まとめ 	

科目コード	BB05
教育課程	学部
科目名	中国語 I
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	基礎科目 - コミュニケーションの基礎 2単位 15回
担当教員	王 怡雯
講義目的	
<p>中国語の声調練習から始めて、挨拶の言葉や自己紹介の言葉を身につける。</p> <p>また、出身地である台湾のこと、旅行に行った際に役立つ言葉などについての説明も交えながら、第二外国語として中国語に興味を持ってもらえるような講義を行っていく。</p>	
授業内容	
<p>教科書「新訳第3版 中国語会話301」を使って、第一課から第十課まで学修する。第一課から第五課までの学修目標は中国語の音節の構造、声調練習、母音、子音から始め、しっかり発音を練習する。また、挨拶の言葉や自己紹介の言葉を身につける。第六課から第十課までは色々な場面での尋ね方（生年月日、時間、場所など）を学修する。</p> <p>授業の流れとしては、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前回の復習 2 単語の読み方練習、文法の説明 3 基本文と会話の文章を読む 4 入れ替え練習と応用 <p>授業中、たくさん会話練習ができるような講義を行う。</p>	
評価方法	
<p>授業中の練習(70%)</p> <p>期末テスト(30%)</p>	
留意事項(履修条件他)	
教材	
「新訳第3版 中国語会話301」	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 音節の構造、声調練習 2 第一課 挨拶(一) こんにちは 3 第二課 挨拶(二) お変わりありませんか 4 第三課 挨拶(三) お仕事はお忙しいですか 5 発音の復習 6 第四課 初めて会う(一) お名前は何かとおっしゃいますか 7 第五課 初めて会う(二) ちょっとご紹介します 8 復習一 9 第六課 尋ねる(一) 誕生日は何月何日ですか 10 第七課 尋ねる(二) ご家族は何人ですか 11 第八課 尋ねる(三) 今何時ですか 12 第九課 尋ねる(四) お住まいはどちらですか 13 第十課 尋ねる(五) 郵便局はどこですか 14 復習二 15 復習三 16 テスト 	

科目コード	BB07
教育課程	学部
科目名	コンピュータ基礎・情報処理法
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目—コミュニケーションの基礎 1単位 15回
担当教員	服部兼敏 西川まり子
講義目的	
汎用ソフトウェアの基本機能を利用し、ソフトウェア相互のデータ変換ができるように情報リテラシーを向上する。基本的なデータ処理能力を向上することで、統計ソフト、データマニング、数値地図システムなどより専門的なソフトウェア利用の準備性を高める。リスク管理や情報倫理を理解しつつインターネット環境でのデータ処理ができるようにする。	
授業内容	
以下について講義と演習を行う。 ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法 汎用ソフトウェア間のデータの変換や移動 CSV形式やTEXT形式などの汎用データ様式 メールやブラウザなどのインターネット環境の利用 インターネット環境でのリスク管理と情報倫理	
評価方法	
事前学習とレディネス確認テスト(30%) 学習グループテストと討議への参加と(30%) 期末試験(30%) ピア評価(10%)	
留意事項(履修条件他)	
<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は予め配布する資料(大学のシステムからダウンロード)を学習してくること。 ・授業開始時に事前学習を前提としたスクラッチカードによる試験を行う。 ・授業では、PCを用いる。 	
教材	
プリント配布予定	
授業計画 (15 回)	
1 授業運営の解説、コンピュータと情報処理概説 2 情報システムの利点とリスク、情報倫理 3 メールの設定とインターネット情報の収集 4 OS(Operation System、Windows)の仕組み 5 ワードプロソフト(MS-Word)の基本機能の解説と入力演習 6 ワードプロソフトの入力演習 7 表計算ソフト(EXCEL)の基本機能の解説と入力演習 8 EXCELの入力演習とグラフの作成 9 EXCELデータとMS-Wordデータの相互変換 10 EXCEL関数の利用 11 EXCEL関数利用の演習 12 プレゼンテーションソフト(PowerPoint)の基本機能と演習 13 データベースの管理と汎用データ形式(CSVとTXT)による出力とPDF出力 14 専門的ソフトウェア(統計ソフト、GIS、データマイニング等)の紹介と解説 15 グループ演習(インターネット情報の収集から入力、グラフの作成とプレゼンテーションまで)	

科目コード	BC01
教育課程	学部
科目名	日本国憲法
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 2単位 15回
担当教員	木幡洋子
講義目的	
<ol style="list-style-type: none"> 1. リーガルマインドを身につける。 2. 日本国憲法が施行されるまでの歴史的背景を学ぶ。 3. 日本国憲法の基本理念・基本構造を正確に学ぶ。 4. 判例を理解する力を身につける。 5. 社会で発生している憲法問題に関して、自分なりの意見をまとめる力を身につける。 	
授業内容	
<p>本講義では、日本国憲法の基礎的知識を習得することを目的とする。特に、日本国憲法が制定された経緯と世界的な人権概念の発展の関係について詳説し、日本における人権の意味の理解を促す。さらに、現代社会における人権の現状と新たな課題について講義し、女性、子ども、高齢者などの人権の現状と憲法との関係を詳説する。こうした個別の項目についての理解を通じ、憲法について、自分の言葉で発言できることを目標とし、知識を活用して社会における多様な問題に常に考える習慣をつけることを指導する。また、「憲法」は「難しい」というイメージがあるが、できるだけ身近な素材を利用して講義を進め、日常の生活との関わりを常に考える機会とする。</p>	
評価方法	
試験70% 課題レポート 30%	
留意事項(履修条件他)	
<p>養護教諭コースの選択希望者は必ず履修すること。</p> <p>人間の生活場面の問題の中で、人間の尊厳に関わるものに関わっているのが日本国憲法です。注意深く聴講していただかないと、問題がよくわからないことがあります。真摯な聴講態度を期待しています</p>	
教材	
<p>木幡洋子「知恵としての憲法学 増補改訂版」風間書房 2015年</p> <p>参考書：授業の進行にあわせて、適宜紹介する</p>	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス (受講上の注意点など。憲法を含む日本の法に関する全体構造について) 2 憲法とは(人権の歴史) 3 日本国憲法制定の過程 4 情報時代の到来と人権の変容 5 人権とその国際的動向 6 教育と人権(教育権と学校内における人権) 7 福祉と人権(生存権と福祉的人権) 8 労働者と人権(労働権・男女雇用機会均等法) 9 女性と人権(女性の憲法上の権利・セクハラ訴訟) 10 子どもと人権(子どもの権利条約) 11 障害者と人権(障害者の権利条約・障害者の人権問題) 12 高齢者と人権(高齢者の人権問題) 13 司法と人権(司法の役割と課題) 14 国会と行政(議員定数問題・行政権の限界) 15 まとめ 	

科目コード	BC02
教育課程	学部
科目名	愛知を学ぶ
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 2単位 15回
担当教員	朝井佐智子
講義目的	
<p>まず愛知の歴史を古代から現代まで通史として概観することによって基礎的な知識を身につける。次に、愛知の基盤となっている産業がどのような歴史をたどり、現在に至っているのかを学習する。その上で、これら身につけた知識をコミュニケーションのツールとして利用できるようになることを目的とする。</p>	
授業内容	
<p>愛知県は日本の中央に位置し、木曾三川、濃尾平野、伊勢湾など自然に恵まれた地であり、「モノづくり王国あいち」と称されるように、日本の製造業の中心地でもある。こうした現在の愛知を培った木材産業、窯業、醸造業などさまざまな産業の発展過程や、豊田佐吉、福沢桃介、森村市左衛門など現在の礎となった人物にスポットをあて学んでいく。近代愛知の歴史がどういった歩みをしたかを振り返ることによって、現在の愛知をみつめなおすきっかけとすることができる。</p>	
評価方法	
レポートの提出と授業への積極性などを考慮して評価する。	
留意事項(履修条件他)	
<p>授業のなかで随時説明していくが、中学・高校時代に学んだ日本史(特に近代史)を復習しておくことより理解しやすい。また博物館や産業遺産を訪ねるなど近代の雰囲気を感じ取っておくことが望ましい。</p>	
教材	
<p>特に定めないが、資料を適宜配布する。 参考資料として、中部産業遺産研究会 編『ものづくり再発見：中部の産業遺産探訪』アグネ技術センター2005年を一応挙げておく。</p>	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 近代成立以前のあいち 3 近代への出発 その1 4 近代への出発 その2 5 紡ぎと織 6 いのちの水と水運 7 あいちと食 8 あいちの鉄道網 9 基礎からのめぐみ木材産業 10 土と炎～窯業と赤レンガ 11 あいちに光を～電気事業 12 ものづくり王国あいちへ その1 13 ものづくり王国あいちへ その2 14 近代から現代へ 15 まとめ 	

科目コード	BC03
教育課程	学部
科目名	人間関係論
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 2単位 15回
担当教員	木幡 洋子
講義目的	
<p>①現代社会における人間関係の特徴を理解する。 ②人間関係に関する新たな理論の展開と応用について理解する。 ③看護の場面における人間関係のあり方について理解する。 ④上述の理解をもとに、新たな人間関係に基づく正義の尺度のあり方を考察する。</p> <p>以上の個別の講義目的を達成することで、現代社会と医療の場面における人間関係の適切なあり方を学生が理解し、さらに、実践的に応用することの必要性に気づくことを講義全体の目的としている。</p>	
授業内容	
<p>人間が関係的存在であることが、どのように理論的に発展してきたかを概観し、さらに専門職者とその対象(患者・生徒など)との関係が、権力関係からパートナーシップ関係へと変わってきていることを明らかにする。そのために、こうした変化の歴史と実際の事例を紹介し、さらに、具体的なパートナーシップ構築のための手法として、「共感」に基づくコミュニケーションとはどのようなものであるかを、個別の具体的な場面を通して講じる。また、パートナーシップとしてのコミュニケーションのための自己開示の手法とその効果を紹介し、具体的な事例についてのワークショップで効果を体験し、理解を深める。そのうえで、看護の様々な場面における人間関係のあり方について具体的な説明を行う。</p>	
評価方法	
<p>最終試験 70% 講義への参加態度 30%</p> <p>*なお、最終試験は、筆記試験またはレポートのいずれかを課す。講義への参加態度の評価方法の詳細は、第1回の講義時に説明を行う。</p>	
留意事項(履修条件他)	
<p>テキストは用いるが、講義はテキストどおりの項目ではない。そのため、毎回の講義の内容をきちんと理解しておくことが必要である。</p>	
教材	
<p>テキスト 系統看護学講座基礎分野『人間関係論』医学書院 最新版 参考書 トマス・ゴードン『医療・福祉のための人間関係論』丸善株式会社(2000年)</p>	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス・現代社会と人間関係について 2 人間存在と人間関係(人間関係のとらえ方と意義) 3 人間関係における社会的相互作用 4 人間関係とコミュニケーション 5 共感(ケアの倫理と共感を中心に) 6 医療におけるチームとしての人間関係(医療現場の人間関係) 7 医療における患者・家族との人間関係 8 終末期における患者と家族をとりまく人間関係 9 家族の人間関係と看護師の関わり 10 ソーシャルサポートと人間関係 11 ノーマライゼーションと人間関係 12 パートナーシップと人間関係 13 共感的な聞き方(ワークショップ) 14 共感的な聞き方(ワークショップ) 15 まとめ 	

科目コード	BC04
教育課程	学部
科目名	教育心理学
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-人間と生活の理解 2単位 15回
担当教員	坪井裕子
講義目的	
<p>教育心理学とはどのような学問であるかを理解し、発達や成長に起こる問題、教育心理学的支援はどのようなものであるかを学ぶ。養護教育に関わる問題や障がいのある子どもたちの問題と養護教員の役割、他の職域の専門家との協働について学び、グループ学修を通じて具体的な教育心理学実践を理解する。「教育心理学の成立とその歴史」、「新しい理論・方法の理解」、「養護教育の現状の理解」、「障がいのある子どもたちの理解」、「他職種との協働の理解」、「発達障害のある子どもたちの支援の理解」等について体系的に学ぶ。</p>	
授業内容	
<p>学校教育に应用できる心理学の基本概念を学び、現場の事象を心理学的に捉え、児童生徒の理解や対応に活かす力を身につける。鍵概念は、発達、動機づけ、学習、知的能力、パーソナリティ、社会性、不適応、障害等である。他にも教育評価や学級集団等の重要な概念も学ぶ。これらは、単なる知識だけでなく、自分自身の振り返り、将来の教師像のイメージ創り等、自分の内面の豊かさに結び付く。方法的にはDVD教材やワークを取入れて進めていく。</p>	
評価方法	
定期試験(80%)と授業態度(20%)	
留意事項(履修条件他)	
養護教諭コースの選択希望者は必ず履修すること。	
教材	
<p>特に指定しないが、適宜、資料を配布する。 参考書・参考資料等：適宜、紹介する。</p>	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション、教育心理の概念と歴史 2 発達とは何か 3 やる気を高めるには 4 学習のメカニズム 5 記憶のメカニズム 6 知識と問題解決 7 問題解決 8 授業の心理学 9 授業評価を指導に活かす 10 パーソナリティを理解する 11 知的能力／パーソナリティの発達 12 心理療法 13 障害児の心理と特別支援教育 14 集団の心理と指導、学校における活用場面 15 まとめ 	

科目コード	BC05
教育課程	学部
科目名	フィットネススポーツ
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 1単位 15回
担当教員	伊藤 敦子
講義目的	
<p>グループに向けた指導方法が習得できる。 プログラミングと指導の実践を通して、必要な実技スキルが習得できる。 エアロビックダンスエクササイズのレッスン形式を指導することができる。 リズムに合わせたウォーミングアップ、メインエクササイズ、筋コンディショニング、ストレッチングの一連の流れを行う。</p>	
授業内容	
<p>スポーツは健康維持ばかりでなく成人病対策に有効だが、個人の運動量との関係は、イメージがもちにくい。そこで、厚労省の「健康づくりのための運動所要量」に基づき、比較的、具体的なエアロビクスを通して量的体感を学ぶ。また、スポーツがストレス解消だけでなく、ガン等の悪性疾患や有酸素運動により肥満を防止し、HDLコレステロールという動脈硬化を防ぐ物質の生成をもたらす。そこで様々なスポーツを正しく理解し、無理なく継続できる個々の運動プログラム作りについても学ぶ。</p>	
評価方法	
受講態度(75%) 実技テスト(25%)	
留意事項(履修条件他)	
<p>養護教諭コースの選択希望者は必ず履修すること。 4月27日、7月13日、7月20日は、休講です。水曜日4—5限に補講を3回行う予定。 追って日にちを伝えます。</p>	
教材	
特になし	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 メインエクササイズ：音楽の役割について講義 2 メインエクササイズ：ステップのバリエーション 3 メインエクササイズ：動きの組み合わせ 4 メインエクササイズ：動きの変化 5 メインエクササイズ：プログラム構成について講義 6 インエクササイズ：安全性 7 コレオグラフィーの手法 8 メインエクササイズプログラムの作成① 9 メインエクササイズプログラムの作成② 10 プログラムの指導テクニック① 11 プログラムの指導テクニック② 12 エアロビックダンスエクササイズによる運動指導 13 メインエクササイズプログラムの指導 14 ストレッチングと筋コンディショニングの指導 15 グループエクササイズの指導 	

科目コード	BC06
教育課程	学部
科目名	体育実技
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 1単位 15回
担当教員	伊藤 敦子
講義目的	
<p>運動は健康の維持・増進に有効であることを感じることができる。 プログラミングと指導の実践を通して、必要な実技スキルが習得できる。 グループに向けた指導方法が習得できる。 エアロビックダンスエクササイズレッスンの形式を指導することができる。</p>	
授業内容	
<p>リズムに合わせてウォーミングアップ、主エクササイズ、筋コンディショニング、ストレッチングの一連の流れを行う。 エアロビックダンスによって、自分自身が有酸素運動の効果を体験する。 メインエクササイズのプログラム作成、指導の実践も行う。</p>	
評価方法	
受講態度(75%) 実技テスト(25%)	
留意事項(履修条件他)	
<p>養護教諭コースの選択希望者は、必ず履修すること。 9月21日、10月12日、11月23日は休講です。追って補講の日程を伝えます。</p>	
教材	
適宜、教材プリント配布	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション(授業の目標と進め方、成績評価、運動の意義・目的) 2 ストレッチング、ジョギングの基礎、現状把握 3 屋内体力測定 4 一般的なエアロビックダンスについての概要説明と模擬体験 5 エアロビックダンスのロー・インパクトとストレッチング 6 エアロビックダンスのハイ・インパクトとリラクゼーション 7 エアロビックダンスの基本的考え方、特性、効果、運動プログラムについて 8 メインエクササイズの基本動作1,2,3の動き方、名称、注意点について 9 メインエクササイズの基本動作4,5,6の動き方、名称、注意点について 10 メインエクササイズの基本動作7,8,9の動き方、名称、注意点について 11 メインエクササイズの運動強度、指導者側と参加者側を体験し、指導の実践をする 12 基本動作の修得確認の小テスト 13 集団の運動指導(レッスン指導)について説明し、指導の実践をする 14 メインエクササイズの運動プログラム作成について 15 作成したプログラムの修正(グループ発表) 	

科目コード	BC08
教育課程	学部
科目名	生命倫理学
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 2単位 15回
担当教員	佐藤 芳
講義目的	
<p>倫理学の基本を習得すること。 生命に関する倫理学の基本を習得すること。 医療臨床で生じる倫理的出来事に気づき解決する方策を考えだせること。 命を大切に扱う方法について考え・行動できること。</p>	
授業内容	
<p>倫理学とはもともとギリシャではエートス(慣習)の学であり、生活の規則(生き方)を対象とする学問である。そして生命倫理学は、人間の生命に関する慣習を扱う学問である。ただし、現在ではこの生命に関する価値観は、医療の高度化にともない再考や変更を迫られている。それゆえ現在の倫理観だけでなく、「人間のくいのち」は、これからどうであるべきか」という将来の倫理観「あるべき倫理」を考察するのが生命倫理学の目的でもある。授業は次の5つの単元がある。生殖補助医療の倫理学、人工妊娠中絶の倫理学、移植医療の倫理学、終末期医療の倫理学、遺伝子医療の倫理学。これらの概念について考察し、自らの倫理観を培う基礎力を養う。</p>	
評価方法	
グループワークの成果物と試験で総合的に評価する。	
留意事項(履修条件他)	
4月9日は休講。かわりに4月15日(水)4限を予定。	
教材	
資料を配布する	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 生命倫理学とは何か? 導入 【4月15日4限】 2 生殖補助医療の倫理学(1) 3 生殖補助医療の倫理学(2) 4 人工妊娠中絶の倫理学(1) 5 人工妊娠中絶の倫理学(2) 6 生殖補助医療・人工妊娠中絶のグループワーク(1) 7 生殖補助医療・人工妊娠中絶のグループワーク(1) 8 移植医療の倫理学(1) 9 移植医療の倫理学(2) 10 終末期医療の倫理学(1) 11 終末期医療の倫理学(2) 12 移植医療・終末期医療のグループワーク(1) 13 移植医療・終末期医療のグループワーク(2) 14 動物の命の倫理と、研究倫理 15 まとめ 	

科目コード	BC09
教育課程	学部
科目名	社会福祉学
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	基礎科目-人間と生活の理解 2単位 15回
担当教員	塚本鋭裕
講義目的	
<p>本授業では、現代社会における子育てや高齢者の介護、障害、疾病や失業などが与える地域生活の問題点、福祉ニーズを整理するとともに、生活問題の解決に向けた社会福祉制度の現状と課題について理解を深める。特に、地域生活を軸に在宅医療や看護、地域保健と連携の重要性、住民を中心に据えた包括的支援を意識することで、看護専門職が社会福祉分野を理解する。</p>	
授業内容	
<p>現代社会における社会福祉の必要性と、社会福祉と医療、看護領域との関連性について学ぶ。社会福祉の歴史、高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉、生活保護、地域福祉、司法福祉等について基礎的知識を身につけるとともに、現代社会における地域課題と各福祉分野の必要性について具体的な事例を交え理解する。特に医療や保健、福祉領域の連携、地域包括ケアの視点を身につける。授業の形態としては、映像を駆使した教材を中心に講義を進めるとともに、ケースメソッドを活用し、事例を基に学生同士のグループディスカッションや講師との意見交換等にて理解力を高める。必要に応じ、各福祉分野において直近で起きているトピックや社会問題、新聞報道等にも触れるとともに、現場で活躍する社会福祉士等の実践報告を聴く機会を作る。</p>	
評価方法	
60%期末試験 40%を授業の参加、課題の提出状況	
留意事項(履修条件他)	
<p>5回以上は評価の対象としない 保健師コースの選択希望者は、必ず履修すること</p>	
教材	
社会福祉士養成講座編集委員会『新社会福祉士養成講座 第4巻現代社会と福祉第4版』中央法規 2,808円(税込)最新版	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉の考え方と理念 2 公的扶助①(生活保護制度の歴史と概要) 3 公的扶助②(仕組みと問題点) 4 高齢者福祉制度①(高齢者福祉の歴史と高齢者福祉サービスの概要) 5 高齢者福祉制度②(介護保険制度の仕組みと問題点) 6 高齢者福祉制度②(地域包括支援センターと高齢者虐待、成年後見制度) 7 障害者福祉①(障害者福祉の歴史と理念) 8 障害者福祉②(身体障害者福祉と総合支援法) 9 障害者福祉③(知的障害者福祉と総合支援法、障害者虐待) 10 障害者福祉④(精神障害者福祉と総合支援法、医療福祉制度、保育制度) 11 児童福祉(児童福祉の歴史と児童福祉制度、児童手当、児童虐待) 12 母子・寡婦福祉(母子・寡婦福祉の歴史と母子・寡婦福祉、児童扶養手当) 13 地域福祉①(地域包括ケア、地域福祉計画) 14 地域福祉②(社会福祉協議会、ボランティア、共同募金、NPO) 15 総括(振り返り) 	

科目コード	BC10
教育課程	学部
科目名	国際文化論
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 1単位 8回
担当教員	大野和基
講義目的	
<p>どの国の人も同じ傾向にあるが、自国から離れて生活したことがない人は、自国の文化の視点からものをみて判断してしまう。しかし、それは非常に危険なことである。日本の常識は世界の非常識と言われるほど、日本の常識は海外では通用しない。そこで日本とは文化の基盤がかなり異なるアメリカの文化を取り上げることで、新しい視点からものごとをみることができるようにする。</p>	
授業内容	
<p>異文化における社会的問題を学び、その背景にある課題や文化的な特徴を知ること、視野を広く持つ素地を養う。具体的には、科目担当者の様々な分野の著名人とのインタビューで得た知識や経験を学ぶことを通して、それによる知識を自己の生活に応用させる素地を養い、自己の生活の足元を見ながら、遠くの目標を見据えることを学ぶ。</p>	
評価方法	
講義がすべて終わったあとの800～1200字程度のエッセイ	
留意事項(履修条件他)	
特になし 12月24日、25日(いずれも2-5限を予定)に集中で行う予定。	
教材	
配布する資料	
授業計画 (8 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 銃文化 2 建前と本音文化 3 宗教(キリスト教) 4 セカンドチャンスを与えない社会(日本) 5 教育 6 危機管理に対する考え方(子供から5分離れるだけで親は逮捕される) 7 司法制度 8 メディア 	

科目コード	BC11
教育課程	学部
科目名	教育社会学
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	基礎科目-人間と生活の理解 2単位 15回
担当教員	松浦善満
講義目的	
<p>教育社会学における基礎的な学説を概観し、学校制度・学級経営などをふくめた教育現象を社会学的に把握について学ぶことを目標とする。特に、教育社会学の基本原理解(実態分析)を学ぶとともに学生の教職への意欲を高める</p> <p>概要：乳幼児期、青少年期、中年期、老年期といった人間のライフ・ステージごとに具体的かつ典型的な社会問題(社会病理)を取り上げる。</p> <p>また、青少年期の生きる質、生活の質を考え、人間生活の健全な在り方について探究する。</p>	
授業内容	
<p>学校現場でのプロブレム(いじめ・不登校・教師の多忙化など)の実態・要因・を明らかにするとともに、実際に解決できる方法についてビデオ等で学ぶ。また、学校運営をはじめ教育システム改革の課題を明らかにする。</p>	
評価方法	
<p>授業出席・ワークショップの感想・最終試験を総合して評価する。</p>	
留意事項(履修条件他)	
<p>養護教諭コースの選択希望者は、必ず履修すること。土曜日集中で行う(①9月26日2-5限、②10月3日2-5限、③10月10日4コマ、④10月17日2-4限を予定)</p>	
教材	
<p>毎回、調査データと資料を配布する。 森田洋司編『世界のいじめ』(金子書房)、松浦・森田編「教室からみた不登校」ほか</p>	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 教育社会学とは①(デュルケームからパーソンズへ) *わかりやすくデュルケーム「自殺論」からパーソンズ「家族論」を紹介 2 教育社会学とは②(清水義弘から森田洋司へ)*わかりやすく紹介し教育社会学の仕組みを理解させる。 3 教育問題の社会学①(いじめ問題の実態・データと事例にみる) *大河内清輝君いじめ自殺事件の遺書を読む 4 教育問題の社会学②(いじめ問題の国際比較)*イギリス・日本・ノルウェー・オランダ4カ国調査結果から 5 教育問題の社会学③(いじめの解決策・日本と諸外国)*ピアサポート・ピアカウンセリングを学ぶ 6 いじめ問題の解決策を考える(ワークショップ)*学校運営をはじめ教育システム改革の課題を明らかにする。 7 教育問題の社会学④(不登校問題の実態・データと事例にみる) *「私の弟の不登校」を読む・文部科学省データを読む 8 教育問題の社会学⑤(不登校問題の要因を探る) *拙著「教室から見た不登校」(森田洋司共編・東洋館出版参照) 9 不登校問題の解決策を考える(ワークショップ)*学校運営をはじめ教育システム改革の課題を明確化。 10 不登校問題の社会学⑥(北星学園余市高校調査から考える)*ビデオ(北海道放送制作・文部省協力)視聴 11 教育問題の社会学⑦(教師の多忙化の実態をみる)*ビデオ(NHK共同制作)視聴 12 教育問題の社会学⑧(教師の多忙化の要因分析)*多忙調査データ紹介 13 教育問題の社会学⑧(教師の多忙化を克服する方策を考える) *学校運営をはじめ教育システム改革の課題を明らかにする。 14 これからの教育問題と教職の課題(学校現場からのレポート)*卒業生の声を学生に届ける 15 まとめ・それでも教師は楽しい仕事(教員文化と教師の生きがい) *これからの学校改革の見通しを提示する。 	

科目コード	BC12
教育課程	学部
科目名	社会保障論
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-人間と生活の理解 2単位 15回
担当教員	塚本鋭裕
講義目的	
<p>国内外をあわせ、社会保障制度の歴史を概観し、現在のわが国の社会保障制度の体系と各制度の基本的構造を理解する。</p> <p>少子高齢化、核家族化、地域生活の変化、雇用をめぐる状況等社会的課題と各制度との関係や制度のひずみや課題についても理解する。</p> <p>また、看護職として、社会保障制度を住民の健全な生活基盤の安定に結び付け理解していく。</p>	
授業内容	
<p>日本の社会保障制度の中心をなす、年金保険制度・医療保険制度・介護保険制度等の仕組みと現状・課題を理解することを目的とする。疾病、高齢等の社会生活上の課題を軸に日本の社会保障制度の必要性和問題点を事例や統計データ、他国の社会保障制度と比較しつつ整理する。また、社会保障構造改革に向けてどのような改革を行おうとしているのかを国の情報等を基に理解に努める。授業の形態としては、映像を駆使した教材を中心に講義を進めるとともに、ケースメソッドを活用し、事例を基に学生間でのグループディスカッションや講師等との意見交換を行い理解力を高める。必要に応じ、新聞報道などで配信されているトピックや社会問題についても触れる。</p>	
評価方法	
60%期末試験 40%を授業の参加、課題の提出状況	
留意事項(履修条件他)	
<p>欠席5回以上は評価の対象としない</p> <p>保健師コースの選択希望者は必ず履修すること。</p>	
教材	
社会福祉士養成講座編集委員会『新社会福祉士養成講座 第12巻社会保障第4版』中央法規 2,808円(税込)最新版	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 社会保障の理念と機能、社会保障制度の体系 2 欧米における社会保障の歴史的展開 3 日本における社会保障の歴史的展開 4 社会福祉制度の沿革と概要・生活保護制度、その問題点と近年の動向 5 労働保険制度の沿革と概要と労働者災害保険 6 雇用保険制度と労働保険制度をめぐる近年の動向 7 年金制度の沿革と概要(年金制度の役割)、国民年金①(加入と保険料納付) 8 国民年金②(老齢基礎、障害基礎、遺族基礎年金の受給) 9 厚生年金保険、共済年金、年金保険制度をめぐる近年の動向 10 医療保険制度の沿革と概要 11 国民健康保険制度、後期高齢者医療制度 12 健康保険と共済制度 13 介護保険制度の創設の経緯と概要、介護保険制度をめぐる近年の動向 14 社会福祉、社会手当 15 まとめ、全体の振り返り 	

科目コード	BC13
教育課程	学部
科目名	哲学
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 2単位 15回
担当教員	内藤可夫
講義目的	
哲学の歴史をたどり、学問や人間を深く理解する	
授業内容	
<p>古代ギリシアに誕生した哲学は、その後自然学、自然科学や人間学、社会科学へと分化し、今日の組織化された学問体系へと発展を遂げた。これはヨーロッパに生まれた特殊な学問の歴史である。だが、現代においては、必ずしも自然や人間、社会の学問的な追及は成功しているとは言えない状態である。それは人間理解の限界がニーチェ以来暴露され批判されたからである。授業ではヨーロッパの哲学史を存在と理性の概念を軸に辿り、今日の文明や分化、思想、そして人間の生き方の問題を根本から理解することを試み、生命や環境などの個別の問題の見通しについても検討していきたい。</p>	
評価方法	
試験	
留意事項(履修条件他)	
なし	
教材	
適宜プリントを配布。参考書についても適宜指示する。	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 哲学とは何か？ フィロソフィアの誕生とその意味 2 存在概念の岐路としてのパルメニデスとヘラクレイトス 3 ソクラテス、プラトン、アリストテレスによる人間の哲学 4 古代哲学のその後とキリスト教 5 中世哲学からルネサンスへ合理的な世界理解(ガリレオ) 6 「知は力なり」ベーコン、「我思うゆえに我あり」デカルト 7 イギリス経験論デビッド・ヒュームの徹底的懐疑 8 カントによるヨーロッパ思想の救出とその限界 9 ヘーゲルによる体系的知の構想と現代史への深甚なる影響 10 「神の死」ニーチェによるヨーロッパ思想の革命的転倒 11 ニヒロズム時代の始まり(ニーチェ) 12 現代哲学によるヨーロッパ哲学修復の試みとその終焉 13 現代の学問上の大問題「自己」とは何か？存在とは何か？ 14 現代の哲学の限界と可能性 日ヨーロッパ思想の可能性と人格、環境 15 まとめ 	

科目コード	BC14
教育課程	学部
科目名	ヨーロッパの芸術文化
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 2単位 15回
担当教員	日比野 雅彦
講義目的	
西欧文化の基礎を歴史的に考察し、芸術と社会との関わりを考える。	
授業内容	
ヨーロッパの芸術文化について言語・文学・美術の各分野にわたって概観する。言語についてはヨーロッパの言語の歴史と近代化の中で言語が果たした役割について検証する。文学については古代ギリシャ時代から現代にいたる演劇の歴史、詩と音楽の関係、印刷術の進化とともに歩んできた小説などについて様々な角度から光をあてる。美術の分野では建築・彫刻・絵画について歴史の流れをたどる。また、芸術文化が技術の発展とどのようにかかわってきたかを検証し、社会と芸術文化の今後を考える。	
評価方法	
終了時にレポート提出	
留意事項(履修条件他)	
特になし	
教材	
教室にてプリント配布	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 ヨーロッパとは 2 ヨーロッパの言語の歴史 3 現在のヨーロッパの言語 4 古代ギリシャ・古代ローマの文学：『オイディプス王』 5 キリスト教と教会美術 6 中世の文学：『アーサー王』 7 ルネサンス：印刷術の発明と大航海時代 8 演劇の時代(1)：シェークスピア 9 演劇の時代(2)：フランス古典劇 10 啓蒙の時代：『百科全書』 11 芸術家の誕生：バッハからベートーベンへ 12 教育制度の整備：小説の時代 13 絵画と写真 14 詩と音楽 15 映画の誕生 	

科目コード	BC15
教育課程	学部
科目名	日本の歴史と文化
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 2単位 15回
担当教員	川口 雅昭
講義目的	
<p>高校時代までに学んだ歴史知識の確認を第一として、古代から現在までの我が国の歴史を広い視点から学ぶ。また、周辺諸国や世界の動向との関係も意識し、我が国が如何なる発展をしてきたかを考え、現在の我が国がどのような理由で形成されているのかを理解する。</p>	
授業内容	
<p>我が国の歴史・文化の基礎的知識の理解を通じて、今後の我が国のあるべき姿の指針を得ることを目標とし、先史時代から現在までの我が国の歴史の流れを学ぶ。その際、各時代を代表する政治的、文化的重要事項・事件や政治的・文化的代表人物等を中心として講義し、その時代理解の一助とする。また、我が国の周辺諸国や世界の動向との関係も意識し、その中で、我が国がいかなる歩みをしたのかを考え、現在の我が国をとりまく諸問題を歴史的に理解する。そして、今後、我が国が取るべき指針を得る。</p>	
評価方法	
試験100%	
留意事項(履修条件他)	
なし	
教材	
<p>詳説 日本史図録第6版 山川出版社; 2013年 929円 その他、サブノートは適時配布する。</p>	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 日本のあけぼの 2 大和政権の成立 3 東アジア情勢と古代国家の成立 4 律令国家の変質と摂関政治 5 武家社会の形成 6 蒙古襲来と武家社会の転換 7 下克上と戦国大名 8 幕藩体制の確立 9 幕政の安定と町人の活動 10 幕藩体制の動揺 11 幕末の動乱と明治維新 12 近代国家の成立と明治立憲制の形成 13 日清・日露戦争と帝国主義的發展 14 日本をめぐる内外情勢 15 「大東亜戦争」と戦後日本 	

科目コード	BC16
教育課程	学部
科目名	経営学の基礎
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	基礎科目-人間の生活の理解 2単位 15回
担当教員	磯貝 明
講義目的	
大学生のキャリア教育の基礎いわば社会人としての必須教養として、広く社会経済への関心を促すとともに、企業・産業と経済の問題について考える力を涵養することを意図し、経営学の入門的知識を修得させる。	
授業内容	
アップトウデイトな話題を紹介しつつ、企業論的視点から、企業行動に関する基礎知識を修得させるとともに、経済主体の一つである企業行動の影響を理解させ、産業の動向や日本経済の実際を広く理解させるよう展開していく。	
評価方法	
レポート50% 小テスト50%	
留意事項(履修条件他)	
なし	
教材	
釜賀雅史・岡本純編著『現代日本の企業・経済・社会』学文社 2013年。	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション・企業概念と類型 2 株式会社の構造と産業界の変化 3 企業組織とその日本的特質 4 企業の戦略行動—経営戦略 5 企業の戦略行動—事業戦略 6 企業活動のグローバル化 7 市場参入と経営組織 8 現代の理想的企業像—企業とステイクホルダー 9 現代の理想的企業像—企業の社会的責任(CSR) 10 日本経済のプロフィール 11 景気のありよう 12 経済発展と国民生活—日本経済のありよう 13 経済成長と環境問題 14 環境経営の時代へ 15 少子化と日本社会 	

科目コード	BD01
教育課程	学部
科目名	教職論
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	資格科目-教職関連科目 2単位 15回
担当教員	折出 健二
講義目的	
<p>目的：教職についての基本的な知識を身につけるとともに、教職への理解を深め、関心を高めて、自らのめざす教師像を意識化することをめざす。</p> <p>・教職課程の中で、自己の目標を検証するための機会を確認できる。</p>	
授業内容	
<p>上記の目的を到達するために、</p> <p>目標：・教員の意義及び役割を説明することができる。</p> <p>・研修、服務が定められ、それゆえの身分保障があることを事例から説明できる。</p> <p>を目標とし、以下の内容を学び、教職に対する理解を深めることができる。</p> <p>・教師の法的規定、役割や機能を学ぶ。</p> <p>・教員の1年間を想定して研修、服務、身分保障などを具体的に学ぶ。</p> <p>・教員等へのインタビューをグループ単位で行った後、報告会でプレゼンテーションし、各自の教職への理解と関心を高め、教師になる基礎を構築する。</p>	
評価方法	
試験70% プレゼンテーション20% 授業態度10%	
留意事項(履修条件他)	
養護教諭コースの選択希望者は必ず履修すること。	
教材	
<p>テキスト：学校が見える教職論 著者名：片山紀子編 富永直也著・出版年：大学教育出版・2012年 1,728円</p> <p>参考図書：学習指導要領解説 総則編</p>	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション、教職とは 2 教員の職務内容 3 教育実習、養護実習 4 教員に対する懲戒処分 5 困った先生 6 教員へのインタビュー(学内) 7 教員へのインタビュー(学外) 8 インタビュー結果のプレゼンテーション 9 教員の精神性疾患とストレスマネジメント 10 学級経営、ホームルーム経営、保健室経営 11 学習指導 12 教室の規律 13 保護者との連携 14 新任教員の心構え 15 総括 	

科目コード	BD02
教育課程	学部
科目名	教育原理
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	教職関連科目-教育原理 2単位 15回
担当教員	折出健二
講義目的	
<p>授業の到達目標及びテーマ (1)教育の理念と歴史、(2)発達と教育、学校と教育をめぐる現代的課題、(3)教師・子ども・学びの3つの側面から教育を学ぶことを目的とし、人類史への目線と国際性をもって教育と人間形成について熟考する態度と基礎的な知識を身につけることを目指す。</p>	
授業内容	
(1)近代から現代にかけての子ども観や学校教育の成立思想及び実践の原理について概観する。 (2)発達と教育等の原理をふまえ教育の現代的課題、子どもの人権、学校の役割、家族の自立等の考えを深める。 (3)子どもの理解、学習観や教師像の変容、教師の専門的成長について理解を図る。	
評価方法	
学生に対する評価 試験80%、授業態度20%	
留意事項(履修条件他)	
特になし 養護教諭コースの選択希望者は、必ず履修すること。	
教材	
テキスト 三輪定宣：教師教育シリーズ 教育学概論 学文社 参考書・参考資料等 折出健二：人間的自立の教育実践学 創風社 柴田義松編：新・教育原理[改訂版] 有斐閣双書	
授業計画 (15 回)	
1 なぜ、教育学を学ぶのか(教師と教育学) 2 人間と教育 3 発達と教育 4 教育と社会 5 学校はどのようにつくられたかーその歴史と課題(1)：西洋 6 学校はどのようにつくられたかーその歴史と課題(1)：アジアと日本 7 教育の権利 8 教育の理念 9 子どもの人権と学習指導・生活指導 10 〈子どもに学ぶ〉ことと教師の成長 11 家庭教育のこれまでとこれから 12 社会教育・生涯学習の可能性 13 教育的指導者・援助専門職者としての教師 14 教員養成と現職教育 15 本講の総括	

科目コード	BE01
教育課程	学部
科目名	解剖生理学 I A
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	専門基礎科目-人体の構造と機能 1単位 15回
担当教員	石黒士雄
講義目的	
人間の形態とは身体を構成する臓器、気管の構造を意味し、機能はその構造から生ずる。器官・臓器の正常構造を学ぶことから始まり、人体を構成する諸器官の機能分担と調節機構、内在する法則性を理解することが目的である。	
授業内容	
人体の基本的な形態と機能を理解し説明できることが目標となる各臓器（循環器、呼吸器、中枢神経系、感覚器、内分泌、泌尿器、血液系）の機能・形態を知ること、その結果、全体として統合された恒常性を保持することができる仕組みが理解できる。その仕組みの異常が疾病であり、その成因を理解することが目標である。この科目では、人体の成り立ち、細胞の構造や組織・臓器の構成、骨格系、筋系、神経権、感覚器の構造を理解できる。	
評価方法	
受講態度30点、試験70点	
留意事項(履修条件他)	
時間外学習として受講前に教科書の講義内容部分を読んでおくこと。 受講後、不明な部分については講義後あるいは時間外に質問し、疑問点を放置しないこと。	
教材	
教科書：トートラ人体解剖生理学 第9版 佐伯由香ほか著 丸善株式会社 2014年 6,900円	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 人体の成り立ち：人体構造と器官系を学ぶことができる。 2 細胞の構造を理解できる。 3 組織・臓器の構成を理解できる。 4 発生と三胚葉を人体構造に合わせて理解できる。 5 上皮・外皮を人体解剖から理解できる。 6 骨格系：骨の種類、成長と骨年齢について理解できる。 7 骨格系：脊柱と姿勢について、人体構造と関連づけて理解できる。 8 形態観察の方法：X線と構造、骨の観察：レントゲン撮影とMRIなどについて理解できる。 9 骨の連結：関節の構造について人体解剖から理解できる。 10 筋系について、収縮の原理:横紋筋と平滑筋などから理解できる。 11 神経系：中枢神経系から理解できる。 12 神経系：交感神経系・副交感神経系から理解できる。 13 感覚神経、眼球・聴器官について構造を理解できる。 14 血管構造、血管循環、組成と循環などを理解できる。 15 輸血と血液型について理解ができる。 	

科目コード	BE02
教育課程	学部
科目名	解剖生理学ⅡA
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	専門基礎科目-人体の構造と機能 1単位 15回
担当教員	石黒士雄
講義目的	
<p>現代の複雑な医療環境のなかで、看護活動を正しく行うためには、人体の解剖学的知識とともに、その機能について十分理解することが基本である。まず、人体を作りあげている分子、および、細胞の働きを学ぶ。それぞれの細胞が集まった組織・器官がその機能を統合し、調整を行うことで人体の生命維持が可能であることを理解するのが目的である。</p>	
授業内容	
<p>ひとの身体は組織・器官が働くことで内部環境の恒常性が図られている。すなわち、消化・血液・循環・免疫・呼吸・排泄の仕組みを学ぶ。また生体が内部環境を維持するうえで、外部からの刺激(感染、放射線、化学物質)に対する対応(情報伝達、免疫、組織修復)も知る必要がある。生殖のシステム、発生、老化などの現象を理解し、その機能を受け繋いでゆくための遺伝情報の理解も重要である。</p>	
評価方法	
受講態度30点、試験70点	
留意事項(履修条件他)	
<p>時間外学習として受講前に教科書の講義内容部分を読んでおくこと。 受講後、不明な部分については講義後あるいは時間外に質問し、疑問点を放置しないこと</p>	
教材	
教科書：トートラ人体解剖生理学 第9版 佐伯由香ほか著 丸善株式会社	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 ホメオスタシス 2 生命と化合物 3 染色体の構造 4 遺伝子の働き 5 細胞分裂 6 外部環境の影響 7 細胞活動と電気 8 細胞間伝達機構：神経伝達物質、サイトカイン 9 内分泌系：下垂体、副腎 10 内分泌系：甲状腺、性腺、膵 11 フィードバック機構 12 インスリンと膜抵抗性：膵ランゲルハンス島 13 カルシウム調節 14 網膜と視力 15 聴覚：感音系と伝音系 	

科目コード	BE03
教育課程	学部
科目名	解剖生理学 I B
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	専門基礎科目-人体の構造と機能 1 単位 15回
担当教員	石黒士雄
講義目的	
形態とは身体を構成する臓器、気管の構造を意味し、機能はその構造から生ずる。器官・臓器の正常構造を学ぶことから始まり、人体を構成する諸器官の機能分担と調節機構、内在する法則性を理解することが目的である	
授業内容	
人体の基本的な形態と機能を理解し説明できることが目標となる。各臓器(循環器、呼吸器、中枢神経系、感覚器、内分泌、泌尿器、血液系)の機能・形態を知ること、その結果、全体として統合された恒常性を保持することができる仕組みが理解できる。その仕組みの異常が疾病であり、その成因を理解することが目標である。	
評価方法	
受講態度30点、試験70点	
留意事項(履修条件他)	
時間外学習として受講前に教科書の講義内容部分を読んでおくこと。 受講後、不明な部分については講義後あるいは時間外に質問し、疑問点を放置しないこと	
教材	
教科書：トートラ人体解剖生理学 第9版 佐伯由香ほか著 丸善株式会社	
授業計画 (15 回)	
1 呼吸系：上気道	
2 呼吸系：気管支、肺、胸腔	
3 循環系：血液(血球)	
4 循環系：血液(体液)	
5 循環系：心臓	
6 循環系：動脈	
7 循環系：静脈、リンパ管	
8 消化器系：上部消化管	
9 消化器系：腹腔、胃腸管	
10 消化器系：肝臓、胆道、膵臓	
11 泌尿器系：腎	
12 泌尿器系：尿路	
13 臓器の形態検査：造影、シンチグラム	
14 臓器の形態検査：MRI、エコー	
15 生殖器	

科目コード	BE04
教育課程	学部
科目名	解剖生理学ⅡB
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	専門基礎科目—人体の構造と機能 1単位 15回
担当教員	石黒士雄
講義目的	
<p>現代の複雑な医療環境のなかで、看護活動を正しく行うためには、人体の解剖学的知識とともに、その機能について十分理解することが基本である。まず、人体を作りあげている分子、および、細胞の働きを学ぶ。それぞれの細胞が集まった組織・器官がその機能を統合し、調整を行うことで人体の生命維持が可能であることを理解するのが目的である。</p>	
授業内容	
<p>ひとの身体は組織・器官が働くことで内部環境の恒常性が図られている。すなわち、消化・血液・循環・免疫・呼吸・排泄の仕組みを学ぶ。また生体が内部環境を維持するうえで、外部からの刺激(感染、放射線、化学物質)に対する対応(情報伝達、免疫、組織修復)も知る必要がある。生殖のシステム、発生、老化などの現象を理解し、その機能を受け繋いでゆくための遺伝情報の理解も重要である。</p>	
評価方法	
受講態度30点、試験70点	
留意事項(履修条件他)	
<p>時間外学習として受講前に教科書の講義内容部分を読んでおくこと。 受講後、不明な部分については講義後あるいは時間外に質問し、疑問点を放置しないこと</p>	
教材	
教科書：トートラ人体解剖生理学 第9版 佐伯由香ほか著 丸善株式会社	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 呼吸機能 2 ガス交換(内呼吸・外呼吸) 3 ヘモグロビンの働き 4 圧と生体機能：血圧、静脈圧、脳圧 5 心機能：刺激伝導系(筋収縮と膜電位) 6 心機能：心電図 7 体液の働き：浸透圧 8 電解質と酸塩基平衡 9 免疫：自然免疫と獲得免疫 10 免疫：細胞性と液性 11 栄養代謝：タンパク 12 栄養代謝：糖・脂肪 13 臓器の機能検査 14 尿の生成 15 発生と遺伝 	

科目コード	BE05
教育課程	学部
科目名	微生物学
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	専門基礎科目-人体の構造と機能 2単位 15回
担当教員	石原由華
講義目的	
微生物学・感染症が理解でき、感染防御法の基礎知識を得る。また、特異的生体防御機構として免疫の理解できる。	
授業内容	
病原微生物と感染症について学び、感染症の治療及び予防のための基本的知識の習得を目指す。病原微生物として細菌、ウイルス、真菌ならびに原虫の性質を説明した後に、肺炎、尿路感染症など各種感染症のメカニズムと発病、それに伴う生体の反応について説明する。さらに、感染症の検査、感染防止対策、滅菌・消毒方法等を解説する。また、微生物による感染から生体を守り、異物の侵入に対して特異的に反応する力である免疫について説明する。	
評価方法	
筆記試験90%、授業態度10%の総合得点100点満点とし、60点以上を合格とする。	
留意事項(履修条件他)	
内容が多いので、復習は必須である。予習については指定教科書の当該部分について読んでおくことが望まれる。講義出席は基本であり、授業中の私語を慎むようにする。	
教材	
藤本秀士 編「病原体・感染・免疫」改訂2版 南山堂 2010年	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 病原微生物：細菌、ウイルス、真菌、原虫の概説と増殖 2 感染のメカニズム：微生物の病原性、感染経路、ヒトの感染感受性と炎症反応 3 感染症の診断と治療：微生物の検査法、抗菌薬 4 多剤耐性菌：ESBL、MRSA、VRE、多剤耐性緑膿菌、結核菌、キノロン耐性菌など 5 血液感染ウイルス：B、C型肝炎ウイルス、HTLV-1、HIV 6 主要ウイルス感染：インフルエンザ、麻疹、風疹、ムンプス、水痘、ヘルペス、ノロウイルス。 7 AIDS：疫学、感染経路、治療ならびに予防 8 感染予防策：標準予防策、接触感染予防策、飛沫感染予防策、空気感染予防策、血液感染予防策 9 消毒薬概論および各論 10 (A) 免疫に関与する細胞、組織：リンパ球、マクロファージ、リンパ組織、好中球。(B) 先天性免疫と食細胞 11 免疫の成立：抗体(免疫グロブリン)、抗原(異物)、補体、モノクローナル抗体。抗原抗体反応と臨床検査。血液型。 12 免疫応答：一次応答、二次応答と免疫記憶、ワクチン。 13 細胞性免疫：Tリンパ球、マクロファージ。サイトカインの働き、SIRS。 14 アレルギー：I、II、III、IV型アレルギーと疾患 15 自己免疫病と膠原病：臓器特異的自己免疫病、慢性関節リウマチ、SLE、ベーチェット病。 	

科目コード	BE06
教育課程	学部
科目名	生化学
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	専門基礎科目-人体の構造と機能 2単位 15回
担当教員	太田美智男
講義目的	
人体の機能を生化学的に理解し、病気を生化学的に理解できる。	
授業内容	
<p>人体や細胞を構成する成分を学び、それぞれの成分の働きを分子レベルで理解して細胞の活動を学ぶ。特に核酸、タンパク質、糖質ならびに脂質の働きと代謝の基本的なメカニズムを学び、それらを支えるビタミンやミネラルなどの役割も含めて生命維持の機構を理解する。さらに遺伝の機構と遺伝子の役割を学んで、遺伝子解析、遺伝子組み換えなども理解できるようにする。また生命維持機構の破綻として生じる各種疾患を生化学的に理解する。</p>	
評価方法	
90%期末試験の成績、10%は小テストなど授業参加の評価を合計する。	
留意事項(履修条件他)	
教材	
<p>書名：ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能② 臨床生化学 著者名：宮澤 恵二編集 出版社・出版年：メディカ出版／2013年 価格：2,730円</p>	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 生体を構成する元素、化合物。 2 細胞の構造と細胞内小器官の役割。血液細胞。 3 糖質代謝：糖の吸収と代謝、エネルギー産生の機構。 4 糖新生、血糖値の調節。 5 脂質代謝、脂質合成。 6 プロスタグランジン類の生成と作用。 7 アミノ酸と蛋白の代謝、尿素サイクル。 8 蛋白の機能：酵素、ペプチドホルモン。 9 補酵素、ビタミン、ミネラル。 10 各種ホルモンの種類と働き。 11 ヘモグロビン、ヘムの合成と代謝、貧血。 12 DNAの構造・複製と遺伝子の構造・発現機構。 13 核酸の合成と代謝、痛風。遺伝子組み換え技術。 14 遺伝、変異とDNA修復、遺伝病。 15 代謝における各臓器の役割。 	

科目コード	BG01
教育課程	学部
科目名	統計学
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	専門基礎科目-健康と生活支援 2単位 15回
担当教員	服部兼敏 西川まり子
講義目的	
統計は何れかの集団の特徴を数値化したもので把握し活用する学問である。特にこの授業は、保健統計に焦点をあてて、国レベルのデータの解読や、さらに疫学的研究から得られたデータを、よりの確に処理する基礎を身につける。	
授業内容	
統計は、看護師と保健師課程に必要であり、活動に必要な集団の健康指標に関する情報資源で、疫学的方法論をもとに学ぶ。この授業では主に1)人口統計の基礎として、人口の推移や平均寿命。2)生活習慣や疾患の統計。3)保健・生物統計の基礎として記述統計、母集団からの標本(サンプル)抽出、母集団の推定、標本におけるグループの違いを推定する検定を学ぶ。	
評価方法	
90% (中間・期末)試験 10%授業へのアクティブな参加状況	
留意事項(履修条件他)	
教材	
書名：涌井良幸 涌井貞美 統計処理ポケットリファレンス 技術評論社 財団法人 『厚生統計協会 国民衛生の動向』 最新号	
授業計画 (15 回)	
1 人口統計の基礎(1)国民衛生の動向の読み方(服部)	
2 人口統計の基礎(2)人口静態・動態(服部)	
3 人口統計の基礎(3)その他(服部)	
4 生活習慣と保健統計(1)禁酒・禁煙、栄養・食生活・運動・身体活動(服部)	
5 生活習慣と保健統計(2)休息・睡眠・ストレス等 まとめ(服部)	
6 疾患と保健統計(1)心臓、脳血管 がん、糖尿病、精神、女性関連、小児(服部)	
7 疾患と保健統計(2) 骨・関節、歯科、難病 状況設定等まとめ(服部)	
8 疫学的生物統計の基礎(1)サンプリング (西川)	
9 疫学的生物統計の基礎(2)記述統計 (西川)	
10 疫学的生物統計の基礎(3)記述統計 (西川)	
11 疫学的生物統計の基礎(4)母集団の推定 (服部)	
12 疫学的生物統計の基礎(5)生物統計の検定(服部)	
13 疫学的生物統計の基礎(6)生物統計の検定(服部)	
14 疫学的生物統計の基礎(7)生物統計の検定(服部)	
15 まとめ(服部)	

科目コード	BG04
教育課程	学部
科目名	公衆衛生学
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	専門基礎科目-健康と生活支援 1単位 15回
担当教員	藤原奈佳子 原田裕子
講義目的	
<p>集団と個の健康の増進と疾患の予防の具体的方策を考える。</p> <p>(1) 社会の中で、疾病と健康を扱うための理論と実践について説明することができる。</p> <p>(2) 健康・疾病・障害と生活の関わりを基礎的な概念を説明することができる。</p> <p>(3) 自然科学的な研究方法論である疫学の考え方を説明することができる。</p> <p>(4) 実践活動としての、疾病のコントロールとヘルスプロモーションの考え方を説明することができる。</p>	
授業内容	
<p>公衆衛生の歴史と公衆衛生行政の発展を学び、併せてプライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーションの理念等を踏まえて健康を規定する要因および、公衆衛生の概念を理解できる。</p> <p>また、公衆衛生の健康指標、健康づくり支援技術を根拠となる保健医療福祉制度・公的根拠を理解し、対象別及び集団・地域の公衆衛生の実践、学校及び産業の場における公衆衛生の実践、災害保健や健康危機管理における公衆衛生活動など、様々な公衆衛生の実践の場と看護師・保健師などの役割について学び、看護職の役割が果たせる。</p>	
評価方法	
試験70%、レポート10%、授業態度20%	
留意事項(履修条件他)	
教材	
<p>清水忠彦・佐藤拓代編著 わかりやすい公衆衛生学 ニューヴェルヒロカワ 最新版 国民衛生の動向(厚生統計協会)最新版</p>	
授業計画 (15 回)	
1	公衆衛生の歴史と公衆衛生行政の発展(公衆衛生の概念、プライマリ・ヘルスケア) (藤原)
2	公衆衛生医学(健康の概念、個人における健康管理と健康増進に対する社会の支援、健康教育ヘルスプロモーション) (藤原)
3	生活と健康(生活習慣病と疾病予防) (藤原)
4	公衆衛生と医療情報の倫理(医療情報の管理と開示) (藤原)
5	人・環境と疫学的視点(環境の概念、環境保全対策、生活環境、地球環境) (藤原)
6	公衆衛生の健康指標 (原田)
7	感染症とその予防 (原田)
8	食品保健と栄養 (原田)
9	生活環境の保全 (原田)
10	医療の歴史 (原田)
11	地域保健活動、母子保健 (原田)
12	学校保健、生活習慣病とその予防・難病 (原田)
13	精神保健福祉 (原田)
14	産業保健 (原田)
15	これからの公衆衛生 (原田)

科目コード	BH01
教育課程	学部
科目名	看護学概論 I
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	専門科目-基盤看護学 2単位 15回
担当教員	篠崎恵美子
講義目的	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の定義・概念がわかる 2. 看護の歴史の変遷を知る 3. おもな看護理論から基本的な看護の役割と機能を理解できる 4. 看護実践を支える法律、制度を理解できる 5. 看護実践に関わる倫理的側面について考察できる 6. 看護の対象とは何かを考え、対象にふさわしい看護を実践するための論理的思考を理解することができる 	
授業内容	
<p>看護学の導入として、看護実践者としての基礎を培うことを学修する。看護の定義・概念から看護とは何かを学び、看護の歴史の変遷や主な看護理論から、看護の対象・役割と機能を理解する。また、看護に関わる法制度や倫理的側面について考察することで、看護専門職として対象と向きあうための基本的態度も身につける。</p>	
評価方法	
<p>期末試験50%、ミニテスト30%、課題レポート20%</p>	
留意事項(履修条件他)	
<p>看護専門領域の基礎となる科目であるため、主体的な学修を求めます。 したがって、毎回の講義時には指定する予習と復習をして出席をしてください。 課題提出は時間厳守とします。</p>	
教材(すべて教科書)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ナーシング・グラフィカ基礎看護学①看護学概論：志自岐康子他編著、メディカ出版、2014、3,024円 ・ 新版看護者の基本的責務 定義・概念/基本法/倫理、日本看護協会監修、日本看護協会出版会、2006、840円 ・ 看護覚え書 本当の看護とそうでない看護、フローレンス・ナイチンゲール(著)、小玉香津子他訳、日本看護協会出版会、2004、1,470円 	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 看護の概念・定義 2 看護の歴史と成り立ち(欧米) 3 看護の歴史と成り立ち(日本) 4 看護理論とは 5 看護理論(ナイチンゲール) 6 看護理論(ヘンダーソン) 7 看護理論(オレム) 8 看護の対象とケアリング(ワトソン) 9 看護と健康 10 看護と法律 11 看護と倫理：看護倫理と基本原則、倫理的意思決定のプロセス 12 看護と倫理：患者の権利と倫理に関する基本概念 13 クリティカルシンキングと看護過程 14 看護診断・看護成果・看護介入 15 看護の役割と機能とは 	

科目コード	BH02
教育課程	学部
科目名	看護学概論Ⅱ
配当学年／学期	1年／前期
科目区分-単位数	専門科目-基盤看護学 1単位 8回
担当教員	倉田節子 内藤直子 郷良淳子 柴山健三 臼井キミカ 山本純子 三徳和子 西川まり子
講義目的	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護学、母性看護学、精神看護学、成人看護学、高齢者看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学、国際看護学の目的や対象や看護の概要(特徴)がわかる 2. 各対象における看護の倫理的課題について知ることができる。 3. 自分の看護のキャリアをイメージしながら、この科目を主体的に学ぶことができる。 	
授業内容	
<p>この科目は、その後に続く看護の各領域で何を学ぶ内容のオリエンテーションとしても科目である。小児看護学、母性看護学、精神看護学、成人看護学、高齢者看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学、国際看護学の目的や対象および内容の大筋を理解し、基盤看護学との位置づけや統合された看護のイメージや看護職となるうえでの倫理的な課題も含めて学び、今後の学修の動機づけができる。</p>	
評価方法	
授業開始時に提示する。	
留意事項(履修条件他)	
看護専門領域の基礎となる科目であるため、主体的な学修を求めます。	
教材	
<p>授業中に資料を配布する 改訂版「あっ！そうか ロイとゴードンの母性小児看護過程11事例」 著者名：内藤直子他、ふくろう出版 第2版・2014：(3,000+税) 円</p>	
授業計画 (8 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の社会・医療における子どもの状況と小児看護の役割 2. 母性看護学、リプロダクティブヘルスの役割と今日的課題 3. 精神保健看護の役割と今日的課題 4. 成人看護学の役割と今日的課題 5. 高齢者看護学の学び 6. 在宅看護学の学び 7. 地域看護学・公衆衛生看護学の学び 8. 国際看護学への招待 	

科目コード	BH04
教育課程	学部
科目名	生活援助方法論
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	専門科目-基盤看護学 1単位 15回
担当教員	服部美穂 篠崎恵美子
講義目的	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の日常生活行動の援助に必要なケアとそのエビデンスを理解する。 2. 有害なものに対する防御を支援するケアとそのエビデンスを説明できる。 3. 身体機能を支援するケアを説明できる。 4. ヘルスケアシステムの有効な利用を支援するケアを説明できる。 5. 心理機能を支援しライフスタイルの変容を促進するケアを説明できる。 	
授業内容	
<p>生活援助方法論では、看護学概論などで学んだ知識、並行して学習する看護コミュニケーション論の知識を活用し、看護活動の場において、さまざまな健康段階・発達段階にある人々の看護の基盤となる生活行動の援助にかかわる看護技術とそのエビデンスを学修する。</p> <p>具体的には、【有害なものに対する防御を支援するケア】【身体機能を支援するケア】【ヘルスケアシステムの有効な利用を支援するケア】【心理機能を支援しライフスタイルの変容を促進するケア】を実践するための基本的な看護介入の方法を修得する。</p>	
評価方法	
期末試験50%、確認テスト25%、課題レポート 25%	
留意事項(履修条件他)	
看護専門領域の基礎となる科目です。基礎看護学実習Ⅱ、生活援助方法演習などの科目と直結する科目になります。積極的に受講することが条件となります。	
教材	
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する：香春知永、斎藤やよい編集 南江堂、2010、4,200円 ・看護介入分類(NIC)原書第5版：中木高夫、黒田裕子訳、南江堂、2009、7,500円 	
授業計画 (15 回)	
1	看護技術の位置づけと概要を理解できる
2	ヘルスケアシステムの有効な利用を支援するケアができる。 ①患者の権利保護、②入院時ケア 心理機能を支援しライフスタイル変容を促進するケアができる。 ①コミュニケーション強化、②意思決定支援
3～5	有害なものに対する防御を支援するケアができる。 ①衛生手洗い、②擦式アルコール手指消毒、③感染性廃棄物取り扱い、④防御用具装着
6・7	身体機能を支援するケア—不動性管理ができる。 ①療養環境とベッドメイキング、②基本的体位・良好な体位、③ボディメカニクスと体位変換
8・9	身体機能を支援するケア—活動管理・運動管理ができる。 ①車いすへの移乗・移送、②ストレッチャーへの移乗・移送
10・11	身体機能を支援するケア—身体安楽を促進するケアができる。 ①清潔の概念、②臥床患者のリネン交換
12・13	身体機能を支援するケア—セルフケアを促進するケアができる。 ①更衣・整容、②清拭、③部分浴と入浴、④洗髪、⑤摂食、⑥口腔ケア、⑦排泄
14・15	事例への介入を検討することができる。

科目コード	BH05
教育課程	学部
科目名	生活援助方法演習
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	専門科目-基盤看護学 2単位 30回
担当教員	服部美穂 篠崎恵美子 伊藤千晴 山口貴子 大林実菜
講義目的	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の日常生活行動の援助に必要なケアとそのエビデンスを理解する。 2. 有害なものに対する防御を支援するケアが実践できる。 3. 身体機能を支援するケアが実践できる。 4. ヘルスケアシステムの有効な利用を支援するケアが実践できる。 5. 心理機能を支援しライフスタイルの変容を促進するケアが実践できる。 	
授業内容	
<p>生活援助方法演習では、看護学概論Ⅰなどで学んだ知識、並行して学習する看護コミュニケーション論の知識を活用し、さらに、生活援助方法論で学んだエビデンスに基づいた看護介入の方法の知識を活用して、看護活動の場において、さまざまな健康段階・発達段階にある人々の看護の基盤となる生活行動の援助にかかわる看護技術とそのエビデンスを学修する。具体的には、【有害なものに対する防御を支援するケア】【身体機能を支援するケア】【ヘルスケアシステムの有効な利用を支援するケア】【心理機能を支援しライフスタイルの変容を促進するケア】を実践するための基本的な看護介入の技術を修得する。</p> <p>上記教員全員で指導。</p> <p>生活援助に関する看護技術を4名1グループになり、学内の実習室にて演習を行う。</p> <p>衛生手洗い、擦式アルコール手指消毒、感染性廃棄物取り扱い、防御用具装、ベッドメイキング、基本的体位・良好な体位、体位変換、車いすへの移乗・移送、ストレッチャーへの移乗・移送、療養上の環境調整、臥床患者のリネン交換、寝衣交換、摂食介助および口腔ケア、清拭、部分浴、洗髪、排泄ケア</p>	
評価方法	
期末試験(実技試験)50%、演習への取り組み25%、課題レポート 25%	
留意事項(履修条件他)	
<p>看護専門領域の基礎となる科目です。基礎看護学実習Ⅱ、生活援助方法演習などの科目と直結する科目になります。授業で学ぶ技術については、必ず事前学習をして臨み、またセルフトレーニングをして、技術習得を目指してください。授業は原則的に全出席とします。</p>	
教材	
生活援助方法論と同じ	
授業計画 (30 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1・2 有害なものに対する防御を支援するケア(1)①衛生手洗い、②擦式アルコール手指消毒 3・4 有害なものに対する防御を支援するケア(2)③感染性廃棄物取り扱い、④防御用具装着 5・6 身体機能を支援するケア～不動態管理～(1)①ベッドメイキング 7・8 身体機能を支援するケア～不動態管理～(2)②基本的体位・良好な体位、③体位変換 9・10 身体機能を促進するケア～活動管理・運動管理～(1)①車いすへの移乗・移送 11・12 身体機能を促進するケア～活動管理・運動管理～(2)②ストレッチャーへの移乗・移送 13・14 身体機能を促進するケア～身体安楽を促進するケア～ ①療養上の環境調整、②臥床患者のリネン交換 15・16 衛生手洗い技術チェックおよび課題 17・18 身体機能を促進するケア ～セルフケア促進～(1)①寝衣交換 19・20 身体機能を促進するケア ～セルフケア促進～(2)①摂食介助および口腔ケア 21・22 身体機能を促進するケア ～セルフケア促進～(3)①清拭、②部分浴 23・24 身体機能を促進するケア ～セルフケア促進～(4)①洗髪 25・26 身体機能を促進するケア ～セルフケア促進～(5)①排泄ケア 27・28 事例への看護介入(1) グループワーク 29・30 事例への看護介入(2) 模擬患者とのセッション 	

科目コード	BH08
教育課程	学部
科目名	看護コミュニケーション論
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	専門科目-基盤看護学 1単位 15回
担当教員	篠崎恵美子
講義目的	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の専門家に求められるコミュニケーション技法について説明できる。 2. 看護の対象を生物心理社会モデルでとらえることができる面接技法について説明できる。 3. 看護の専門家に求められる態度を形成する。 	
授業内容	
<p>看護コミュニケーション論の学習は、【看護の専門家としての対人関係を築くために必要なコミュニケーション技法】【看護の対象を生物心理社会モデルでとらえることができる面接技法】から構成される。</p> <p>これらのコミュニケーション技法を学習することで、患者中心の看護に必要な解釈モデルを聴くことの重要性を理解し、学生間のロールプレイや模擬患者とのセッションを通して、看護師に求められる態度を形成する。</p>	
評価方法	
期末試験50%、授業への取り組み(確認テスト・セッションへ状況)25%、課題レポート 25%	
留意事項(履修条件他)	
看護専門領域の基礎となる科目です。基礎看護学実習、生活援助方法論、生活援助方法演習などの科目と直結する科目になります。また模擬患者とのセッションなどの演習も含まれています。積極的に受講することが条件となります。	
教材	
・看護コミュニケーション 基礎から学ぶスキルとトレーニング：篠崎恵美子、藤井徹也著 医学書院、2015、1,944円	
授業計画 (15 回)	
<ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニケーションとは 2 看護におけるコミュニケーション 3 良好なコミュニケーションに必要な技法(1)質問技法 4 良好なコミュニケーションに必要な技法(2)関係構築技法 5 コミュニケーション技法演習 ロールプレイ 6 看護の対象を生物心理社会モデルでとらえるための面接技法 <ol style="list-style-type: none"> (1)患者中心の看護に必要な面接技法 7 看護の対象を生物心理社会モデルでとらえるための面接技法 <ol style="list-style-type: none"> (2)患者中心の面接と医療者中心の面接 8 看護の対象を生物心理社会モデルでとらえるための面接技法 <ol style="list-style-type: none"> (3)統合された面接技法演習 9 看護コミュニケーション技法 模擬患者とのセッション 10 看護コミュニケーション技法 模擬患者とのセッション 11 看護コミュニケーション技法 模擬患者とのセッションの振り返り 12 看護コミュニケーション技法 模擬患者とのセッション 13 看護コミュニケーション技法 模擬患者とのセッション 14 生物心理社会領域への看護介入と看護コミュニケーション 15 良好な患者—看護師関係を構築するための看護コミュニケーション 	

科目コード	BK41
教育課程	学部
科目名	国際看護学Ⅰ
配当学年／学期	1年／後期
科目区分-単位数	専門科目-広域看護学 2単位 15回
担当教員	西川まり子
講義目的	
この授業は、国際看護学への導入である。将来、国内における多文化看護のケア提供や国際社会のヘルス分野における貢献を目指す基礎となる世界のヘルスやヘルスシステムを学ぶ。	
授業内容	
国際看護への導入、定義とその必要性からはじめ、初学者に理解しやすいように、世界地図に合わせて、世界のヘルスの状況と特徴や目標とするミレニアムゴールを学ぶ。具体的には、世界のヘルスと密接に関係する、経済、環境、ジェンダー、人口問題、栄養状態、労働、少年兵士、外傷や事故、伝統医療、難民保健、感染症、ヘルスシステムの概要を学ぶ。初学者にも理解しやすいようにDVDを取り入れて視覚的にも学ぶ。	
評価方法	
試験80% (中間・期末)レポート10% 授業への参加度10%	
留意事項(履修条件他)	
なし	
教材	
日本国際保健医療学会編『国際保健医療学 第3版』杏林書院(2013)ISBN978-4-7644 3,200円 UNICEF『世界子供白書』最新版 240円 UNICEF『基礎リーフレット』最新版10円 イシメール・ベア、忠平美幸(翻訳)(2008)。「戦場から生き延びて ぼくは兵士になった」河出書房新社、1,800円 〈資料〉 デイヴィッド ワーナー、若井 晋(翻訳)『いのち・開発・NGO』1998, 新評論ISBN13:978-4794804228 3,990円 西川まり子『目で見える国際看護』DVDⅠ,Ⅱ,Ⅲ, 医学映像教育センター29,400円×3	
授業計画 (15 回)	
1 国際看護学への導入: Jeanne Mance. 国際看護学とは。その必要性	
2 世界地図に合わせてヘルスと看護の役割: 日本との比較も含める	
3 世界のヘルスと歴史的展開と現代の課題、将来に向けて。ミレニアムゴール	
4 経済と世界のヘルス: 国、国内格差(ニューヨーク、ブラジル、中国の例)	
5 途上国の環境とヘルスの問題 (ケニアのスラム: キベラの例)	
6 ヘルスと教育、孤児、ジェンダーの問題、	
7 世界のヘルスシステム	
8 世界の人権と倫理, テロとヘルス(ニューヨークの例)	
9 世界の人口と家族計画、FGM、リプロダクティブヘルスの概要	
10 世界の栄養状況	
11 世界のメンタルヘルス、労働衛生、少年兵士、外傷や事故、たばこ	
12 世界のヘルスと伝統医療、難民保健(シリア、ニューヨークのカンボジア人) 難民キャンプでの看護師や看護用の移動図書館	
13 感染症(1)世界の小児の感染症	
14 感染症(2)エイズ、結核、マラリア、その他の感染症や予防接種	
15 まとめ	